

大学院総合文化研究科超域文化科学専攻／教養学部英語部会  
准教授または講師公募要項

1.	職名及び人数	准教授または講師 1名
2.	採用予定日	令和4年4月1日（予定）
3.	契約期間	期間の定めなし
4.	試用期間	採用された日から6月間
5.	就業場所	東京都目黒区駒場3-8-1 駒場キャンパス
6.	所属	大学院総合文化研究科超域文化科学専攻／教養学部英語部会
7.	業務内容	(1) 大学院（超域文化科学専攻比較文学比較文化コース）における比較文学関連科目の教育と研究指導。 (2) 教養学部後期課程（教養学科超域文化科学分科、3・4年生）における比較文学比較芸術コース関連科目の教育と研究指導。 (3) 教養学部前期課程（1・2年生）における英語部会関連科目の教育。 (4) 上記の活動に係わる組織・行政上の業務。
8.	就業時間	専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分勤務したものとみなされる。
9.	休日	土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
10.	休暇	年次有給休暇、特別休暇 等
11.	賃金等	学歴・職務経験等を考慮して決定。昇給制度あり。 参考 大学卒/25万円～ 修士修了/28万円～ 博士修了/34万円～ 医学博士修了/36万円～ 諸手当 賞与（年2回）、通勤手当（原則55,000円まで）の他、大学の定めるところによる。
12.	加入保険	文部科学省共済組合、雇用保険に加入
13.	応募資格	(1) 博士学位取得者、もしくはそれに準じる業績を有する方。 (2) 日本近・現代文学を中心とする比較文学研究を専門とする方。 (3) 大学での英語教育歴を有する方。 (4) 英語による授業が可能である方。 (5) 日本語を母語としない場合、研究教育活動および業務に支障のない日本語能力を有する方。
14.	提出書類	自薦の場合は、次の(1)から(7)を提出。 (1) 履歴書（東京大学統一履歴書を <a href="http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html">http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html</a> からダウンロードして作成してください）。 (2) 最終学歴を証明する書類。 (3) 研究業績リスト（学位論文、著書、学術論文、翻訳、学会発表などに分類）。 (4) 主要業績3点以内。各1部（コピー可）。 (5) これまでの研究の概要と今後の研究の計画（日本語で1000字程度。A4用紙で形式自由）。 (6) 着任後の比較文学の教育および英語教育に対する抱負（日本語で1000字程度。A4用紙で形式自由）。 (7) 本人に関する所見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先。

		他薦の場合は、上記(1)(3)の概要および(4)を提出。これに加え推薦書（A4用紙で形式自由、日本語）を提出。
15.	提出方法	封筒に「比較文学・英語関連教員応募書類在中」と朱書き、簡易書留郵便で下記住所に送付のこと。 ※提出書類は原則として返却しませんが、返却希望の場合はその旨を明記し、切手を貼った返信用封筒等を応募書類に同封してください。 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻比較文学比較文化コース研究室気付 主任 寺田寅彦宛
16.	応募締切	令和3年8月31日（火）午後5時必着 (1) 選考委員会による書類選考とし、必要に応じて面接を行います。その際英語の模擬授業を御願ひすることがあります。面接のための交通費・宿泊費は支給されません。 (2) 採否の結果は令和3年12月下旬頃までに郵送で通知する予定です。
17.	問い合わせ先	〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 大学院総合文化研究科超域文化科学専攻 担当：寺田寅彦 e-mail: torahiko3[at mark]g.ecc.u-tokyo.ac.jp (表記のメールアドレスの[at mark]は@に置き換えてください。) 件名に【公募関係問合せ】と入れて下さい。
18.	募集者名称	国立大学法人東京大学
19.	その他	取得した個人情報、本人事選考以外の目的には利用しません。 「東京大学男女共同参画加速のための宣言(2009.3.3)」に基づき、女性の積極的な応募を歓迎します。